人の長所美点を伸ばす教育 (2)

香長中学校三和分室主任　高石文一

或る級に物質的、金銭的な事についてよくない癖があり小学校の時からずつと隣近所の人は勿論、警察にもいつも迷惑をかけ通しの生徒がありました。

よく学校も休むので主任の先生や福祉の先生も家庭訪問をするが家にはいない、たまに来ると又休む、休むと又何か問題をおこしているといふ具合で随分先生方が手を焼いたものでした。

六月下旬に日下あたりまで行つて人の自転車に乗つて来た事があつて、この時は親戚も両親ももう見込みはない少年院へ入れたいと言つて来た。

私としては確かに良くなるとの確信がありました。主任の先生から五日位学校を休んで高知市内をうろついた事があつてその時の事を聞いつめられた時「色めがね写真機がはしくて高知市内を毎日うろついたがとれる様にもなつていなかつたし、こわかつたのでとれなかつた」といふ事をきいたので、

「よし、見込みはある。こわかつたと云ふのは自分の欲望を抑制する作用が動いている証拠だ。この仇きがある以上。良い子供だ。必ず悪癖は直せる」との確信をもつた。

「大事な時です。一歩誤れば一生棒にふつた事になります。

全力をつくしてやつてみませう。どうしても直さなければなりません。今一度私にまかせてもらいたい」と一応両親にあづかり。自分に良い心をもつている事を確かめさせ、この心を伸ばして行く様に努力させる様にした。それから毎日学校へ来るし何も問題をおこさないので良い方向へ向つているものと思つた。一番心配したのは夏休みに入る事で、福祉の先生も三日に一度は家庭訪問をしてもらう事にした。

十七日の登校日には学校を休んでおり、丁度休み中にぶどう畑に入つてぶどうをとつた生徒があり、どうも彼も其の中に入つているらしいというわさがあつてさびしい思いをした。

九月一日にも学校を休んでおり益々心配になつて来たが二日には登校した。一日には病気で休んでいたそうで事情をきくと休み中に友達がぶどうを持つて二晩位続けて来、次の晩にさそいに来て友達四人と畑に行つた。

他の者がとつたので自分もとろうとして手をぶどうに持つて行つたが、おさへ様とした時ブツと校長先生の顔が浮んで来た。

これはとつてはならん。

「僕はとらん。」といつて止めたと言う。一緒に行つた者は他校の生徒もまじつていたが行つた者にたしかめてみても「たしかに手はもつていつたが僕はとらん」と言つてやめた。とらざつた」と言うことがたしかめられた。これでたしかに悪癖は直つたものと私は確信した。

全校唯一の問題児、この一人を救つただけでも今まで苦心したかいがあつた。有難い有難い。と私は心から神に感謝し思はず感涙が両眼からあふれ出るを感じた。至誠天に通ずる、まして人間に通じないわけはないとの確心を強くした。これを機会に悪い事をした事など忘れて良い事をした事を日誌に書かす事にした。ほんとに一行日記ですけれども九月二日から毎日続けており。別に添付しますがこれをみるとまことに可愛らしい子供であります。

自分が仇いた金をもつて父親のバチンコ代金をはらいに行つたりしています。

これが両親が少年院に入れたいと言つて来た子供だとはどうしても言えられません。善行日誌は自分の良い事をした事を記録させる事によつて客観化し自分の良い点を拡大化して自信を持たせ良い方へ良い方へと廻転させて行く方法であります。

目に見えてこの子供はぐんぐん伸びて行きました。悪に強い者は善にも強いと言いますが授業中の態度も変つておりますし、作業の時など一生懸命やつています。

心ない友達が日和が違うぞなど言つてもこんな時この様な子供は強いものです。自分がやろうとすれば何としても動じません。人間も変つて来ました。

この日誌がもとになつて他の生徒も見習つて善行日誌をつける生徒が次々と出来て来ました。

筆を持つて墨水を調すというふことわざがあります。水盤に水を入れて見る。たゞそれだけでは動かないが筆をもつて一方に廻していると水の流れを生じ終りには筆をポンとなげこむと今度は筆も廻り出す。

私がこの子供にしたのは唯一本の筆の役目しかないがこの子供が父筆の役目をする事になつて、かつて全校一の問題児といはれた者が今全校生徒の手本となつて大きな学校の流れをつくり又そうして自分も其の中に大きさに開かれた南国市議会でのこと。

執行部が定刻を小一時間すぎても姿をみせないのにゴウをにやした市議の面々。

「議会軽視もはなはだしい」といきまいてひと荒れしそうな雲ゆきに野口議長

議会通信

思い違い

「執行部に定刻厳守を申し入れる」といつてなだめやがて姿を見せた西村市長に「おくれる場合は正式に届けて下さい、わかりましたかッ？」

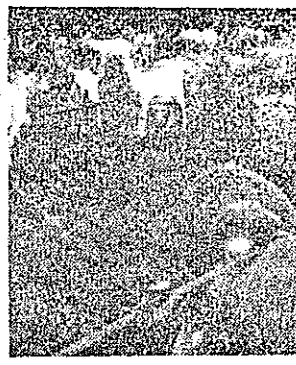
ところが、どう思違いしたのか某議員すかさず、

「わかりましたッ」

かい注意力がにぶつて、交通事故を起こしています。

「上座は酒国」といわれるほどに、酒を飲む機会が多く、飲酒運転による交通事故が、他の県にくらべて多く起つております。

畜産品評会場のヤギとメン羊のむれ



南国市今月の税金

一月は後免地区、岡豊地区、岩地区、野田地区が昭和三十四年度県市民税第四期分の納期（一月一日―三十一日）です。南国市税務課では次の通り出張徴収をしますからぜひ期限内に納めて下さい。

後免	1月26日 正午	―後3時30分
〃	1月27日 前10時	―前11時
〃	1月28日 前10時	―正午
〃	〃 〃	後1時30分―後3時
〃	1月29日 前9時	―後4時
〃	〃 前9時	―後4時
〃	〃 前10時	―後2時
〃	〃 前10時	―後2時
〃	1月30日 前9時	―後4時
〃	〃 前9時	―後4時

黒滝農協支所
成合農協支所
奈路農協支所
瓶岩農協
長岡東部公民館
旧岩村役場
上倉農協
旧久礼田村役場
長岡東部公民館
国府農協

岡豊地区は岡豊支所、野田地区は市役所本庁へ納めて下さい。

働くものの学校

県立山田高校夜間部

働く青少年たちに高校教育の機会を与える、高知県立山田高等学校夜間部はさる二十七年開設、すでに多くの卒業生を送り出した。卒業者には全日制と同じ資格が与えられる。

修学年限は四年で、現在四学級（南国市の生徒四人）生徒の中には四十代も一人あり、これまでに大学に進んだものも八人ある。

三十四年度教科課程（卅五年度もほぼ同一の見込）

教科	学科目	1	2	3	4	計
国語	国	4	3	3	2	10
〃	〃					2
社会	甲乙会史	5				5
〃	社日世		5			5
〃	〃			5	5	10
数学	1	3	3	3		9
〃	2				3	3
理科	物化			3		3
〃	保		5	5		5
保体		3	2	2	2	9
芸能	書道	(2)	(2)			2
外国語	英語	5	2	3	2	12
職業	商業	2	2	3	7	14
		二四	二四	二四	二四	八九

備考　数字は一週中の授業時数（単位数）

②授業料免除の制度

①奨学金制度の恩典

日本育英会奨学資金貸与の恩典（毎月千円）

母子家庭修学資金貸与（毎月千円）

③通学定期券の購入、学生割引証の交付が出来る

④勤労所得税が軽減される

⑤生徒活動として美術部、卓球、陸上競技、ソフト部、商業、家庭等の部活動が活発に行われている（問合せの時は出来るだけ休日以外の午後事務室又は夜間部教員室へ。手紙の場合は返信料を添え（十円）山田高校夜間部宛）

南国市産業祭会場

第一回南国市産業祭入賞者氏名

（一等賞は各十一月、二日間にわたり大篠小、中学校ならびに附近の田を会場に開催された、南国市の第一回産業祭はわずかの準備期間にもかかわらず多くの出品があり、家畜類だけでも四百頭に近かい選り抜きのものがそろつた。以下は各出品物の入選者氏名。（住所ならびに出品物の種類は紙面の都合でのせれなかつた。）

知事賞

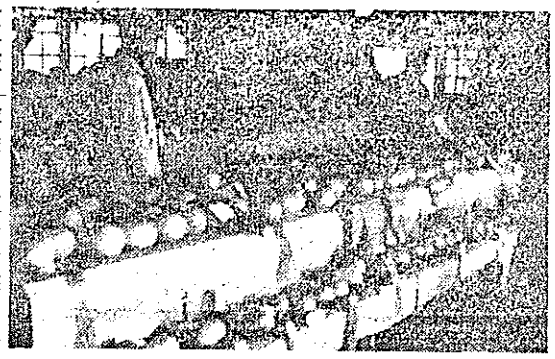
高村恒治、土居基、門田誠一、土居勇、北村武彦、村田佳秀、山長園芸組合、小野山一

一等賞

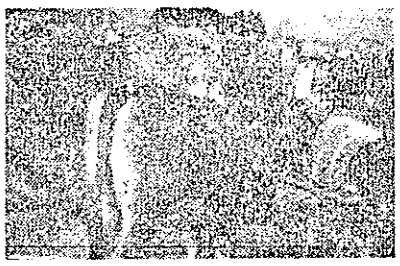
田内豊太郎、沢村初子、竹島英三郎、土居鹿子、武市秋雄、西内礼志、平田幸一、野村すが、池本陽昭、山本佳子、溝淵稔、橋田二郎、土居孝雄、土居明、山本幸助、土居孝一、土居太典、魚坪園芸組合、村田晃、広瀬一、松木正子、村田照治、溝依春男、小松満茂、窪田一彦、浜田寅八、野村馬吉、山本すえ子、田中竹猪、広末京治、中野佐登子、高橋茂喜、久松千恵、岡林胡桃、森尾優子、土居ずいお、野村さえ、池田哲、山本昇、浜田初喜、窪添美和子、野村栄、竹島英三郎、岡林将、浜田照喜、土居国、森尾英巳、後藤美恵子、竹内房恵、土居正松、橋田基郎、北村治幸、中橋一雄、松村保郎、森尾英実、北村謙一、西村広道、森尾子、野村繁明、浜田源吉、前田一、永田雪子、森茂章、内村寛、竹内正則、土居正明、窪田正芳、下末松農研会、高島慶幸、北村謙一、矢野千恵子、柳原遼馬、小野山一、中江満則

二等賞

森尾真美、土居明、岡崎邦知、沢村嘉浩、溝淵稔、北村幹生、森尾秀、上居照恵、西原一雄、北村幹生、北村謙一、北村武彦、北岡幸夫、後藤喜明、西村広道、山本幸助、居谷かおる、山崎光、細川益秀、入交、中江真重、浜田源吉、広瀬、細川春子、岩貞隆、田内茂則、西内太郎、沢村盛利、中沢林作、内田典之、田中竹猪、窪添敏雄、中沢満則、野村正行、窪添松子、葛目正志、土居賢生、関田政治、土居美千生、窪添敏夫、門田誠一、溝依春男、楠瀬節子、中沢正光、浜田竹子、西村長治、土居まもる、橋田三郎、久万芳治、野島鶴恵、角坪園芸組合、三和南部園芸組合、県農試、山本正好、松本政之、田内洋視、高橋松美、関田清志、依光静子、恒石春治、中尾徹、水田豊士、依光和夫、橋田正子、永田米吉、高芝照喜、土居国、森尾英巳、後藤美恵子、竹内房恵、土居正松、橋田基郎、北村治幸、中橋一雄、松村保郎、森尾英実、北村謙一、西村広道、森尾



会場をいろどるソ菜、果実などの出品物



出品された自慢のお牛様

虎尾、中沢善子、藤宗計恵、西村長治、松木四郎、松木的喜、山岡良吉、前田寮美、恒石芳美、高橋和夫、村田

おことわり

俳句やマン画の投稿がありましたが紙面の都合で二月号にのばしました。個人の営業宣伝は掲載できません。

沢漫、窪田茂樹、西村長治、土居智之、坂本富士雄、山本駒義、窪田忠治、下末松農研、浜田繁、武市広、田中真由美、竹内正則、徳橋彦喜、西原優、橋詰勲、野村重、田内典太郎、広井彦、土居義治、中沢百合子、東高子、村田昌佐子、中沢高義、田中泉、内村道子、依光和夫、橋田清志、岡明雄、川村静幸、中沢満則、広光かおる、広末守治

酒を飲んだら運転をやめましょう

酒によつて、自動車や原動機付自転車を運転することは、「無謀な操縦」であり道路交通取締法で、最も重く罰せられることになつておりますが、なぜこのようにきつく禁止しているのでしようか。酒を飲むと気持が大きくなつて、少しくらいのスピードでは、車が走つていないような錯覚にとらわれて自然とスピードを出しすぎたり、こまされておりますが、なぜこのようにきつく禁止しているのでしようか。酒を飲むと気持が大きくなつて、少しくらいのスピードでは、車が走つていないような錯覚にとらわれて自然とスピードを出しすぎたり、こまかい注意力がにぶつて、交通事故を起こしています。

「上座は酒国」といわれるほどに、酒を飲む機会が多く、飲酒運転による交通事故が、他の県にくらべて多く起つております。

三十四年の一月から十一月末までに起こつた交通事故の総数は一、二〇三件で、その一三パーセントにあたる一五六件は、飲酒運転による事故で、多数の重傷者や死亡者を出しております。お父さんや、兄さんが不用意な飲酒運転をして大けがをし、一家の者が路頭に迷うことを想像したとき他人ごとのように考えず、みんなが注意しあつて飲酒運転を追放しましよう。